

2024年度

環境経営レポート

(対象期間：2024年1月～2024年12月)

発行年月日：2025年8月1日

株式会社 山下組

目 次

1	環境経営方針	P.2
2	事業概要&認証登録範囲	P.3
3	実施体制	P.4
4	環境経営目標	P.5
5	環境経営計画	P.6
6	環境経営目標の実績	P.7
7	環境経営計画の取組結果とその評価、次年度以降の取組内容	P.9
8	環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価並びに違反、訴訟等の有無	P.10
9	代表者による全体評価と見直し結果	P.10

1 環境経営方針

〈環境理念〉

株式会社山下組は、全社員が環境問題を認識し、建設業の事業活動を通じて、社員一丸となって環境負荷の低減に取り組んで行くことを誓約します。

〈行動指針〉

- 1、二酸化炭素の排出量の削減に努めます。
- 2、一般廃棄物・産業廃棄物の削減に努めます。
- 3、水の適正な利用と排水量の削減に努めます。
- 4、環境に配慮した工事を推進します。
- 5、事業活動に関連する法規制は、確実に遵守します。
- 6、地域の環境保全活動に積極的に参加します。
- 7、継続的な改善に取り組むことを誓約します。

制定日：2013年 7月31日
改定日：2023年 4月 1日(第3版)

株式会社 山下組

代表取締役社長 菅原 陽一

2 事業概要 & 認証登録範囲

1 名称及び代表者名

株式会社 山下組
代表取締役社長 菅原 陽一

2 所在地

本 社 岩手県花巻市上根子字石川原 7 8 番地 1
T E L 0 1 9 8 - 2 2 - 2 1 1 1
F A X 0 1 9 8 - 2 2 - 2 1 1 0

3 環境管理責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者 代表取締役副社長 菅原 健太
T E L ・ F A X 本社と同じ

4 事業活動の内容

土木工事、建築工事、とび・土工工事、舗装工事、解体工事、林業、太陽光発電事業

5 許可の内容

建設業許可 岩手県知事(特一4)第840号
産業廃棄物収集運搬業 第00302154769号(自社分のみの収集運搬)

6 事業規模

資本金 7, 000万円

項 目	単 位	2022年度	2023年度	2024年度
売 上 高	百万円	935	731	864
従 業 員	人	39	39	41
事 務 所 床 面 積	m ²	478.6	478.6	478.6
倉 庫 床 面 積	m ²	499.2	499.2	499.2

7 認証・登録対象範囲

認証・登録事業者：株式会社 山下組
対象活動：建設業(土木工事、建築工事、とび・土工工事、舗装工事、解体工事)
林業、太陽光発電事業
対象組織：本社

8 営業範囲

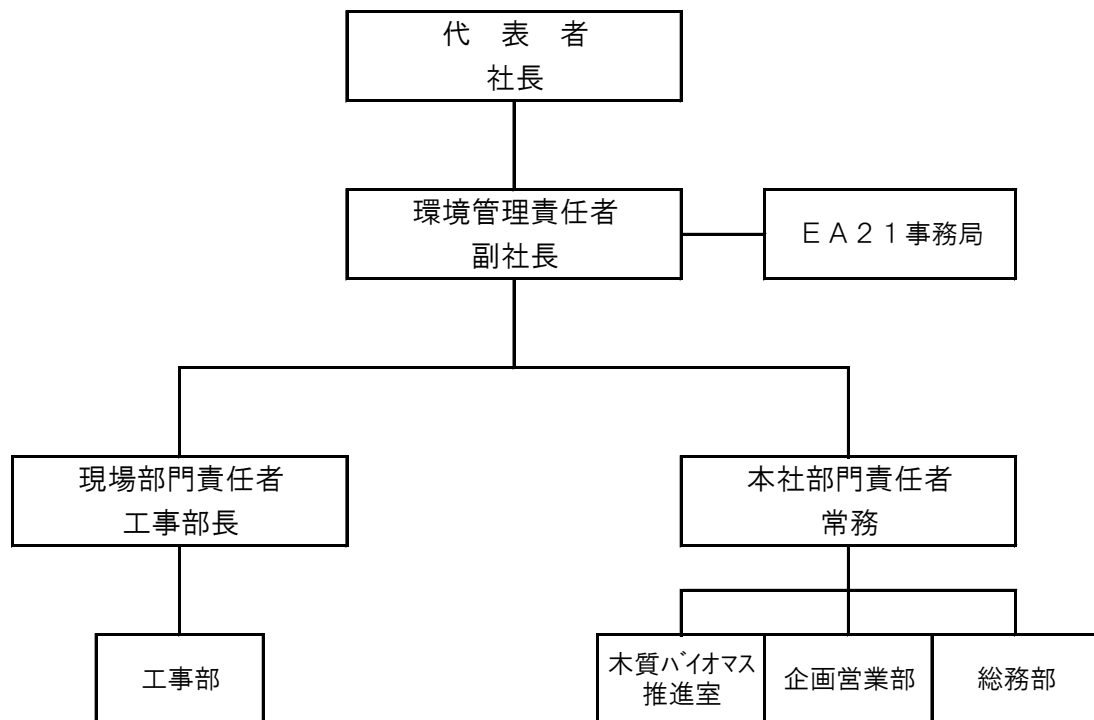
岩手県全域及び宮城県内の一部市町村

9 社歴

大正 9 年 4 月 1 日 創業
昭和30年 4 月 2 日 建設業登録 資本金100万円
昭和37年 4 月 2 日 菅原万次郎 代表取締役社長に就任
昭和40年11月10日 資本金 400万円に増資
昭和47年12月27日 資本金 1, 000万円に増資
昭和51年12月 1 日 花巻市不動に本社移転
昭和52年 5 月17日 資本金 4, 000万円に増資
昭和53年12月 5 日 資本金 5, 000万円に増資
昭和61年10月16日 資本金 7, 000万円に増資
平成 5 年 2 月17日 菅原 一司 代表取締役社長に就任
平成16年 2 月10日 菅原 一司 代表取締役会長に就任
菅原 陽一 代表取締役社長に就任
平成19年10月15日 花巻市上根子字石川原に本社移転

3 実施体制

1 組織図



2 役割・責任・権限表

役割	責任 ・ 権限
代 表 者	・ 環境管理責任者を任命し、環境経営方針(環境理念・行動指針)を決定する ・ 取組に必要な資源(人員・設備・費用)を用意する ・ 全体の評価と見直しを行う
環境管理責任者	・ 代表者に代わってエコアクション21の構築・運用を行う ・ 代表者に取組結果を報告する ・ 環境経営レポートを作成し、公開する
E A 2 1 事務局	・ 環境管理責任者を補佐する ・ 必要なデータの集計・分析を行う ・ 各部門の取組状況を把握し、環境管理責任者に報告する
部門責任者	・ 各業務で取組みを推進・実施し、社員の取組みをチェックする ・ 必要な教育訓練を計画・実施する ・ 環境管理責任者に報告し、是正・改善処置を行う
全 社 員	・ 決められたことを守り、部門責任者の下で取組みを徹底して行う ・ エコアクション21に関する教育訓練やセミナーを受講し、理解を深める ・ 地域貢献活動に積極的に参加する

4 環境経営目標

1 環境負荷の実績

表1 主な環境負荷等の実績

本社

項目	単位	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	50,310	48,029	47,588	44,721
一般廃棄物排出量	kg	1,300	1,220	1,500	1,730

注：二酸化炭素排出に係る電力の排出係数は、東北電力の2017年度調整後排出係数0.523kg-CO₂/kWhを適用して算定

2022年度からは東北電力の2021年度調整後排出係数0.457kg-CO₂/kWhを適用して算定

総排水量の項目が無いのは、当社では地下水をポンプで汲み上げて利用しており、計測不可能な為

現場

項目	単位	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	465,883	244,993	327,012	309,767
産業廃棄物排出量	t	0.31	0.02	0.00	7.46

注：産業廃棄物は最終処分の数量で、集計期間は4月～3月

2019年度から最終処分の数量のみで集計

2 環境経営目標の設定

当社では、2021年度を基準年度として中期及び単年度の環境経営目標を、それぞれ表2のとおり設定し、環境活動に取り組んでおります。

表2 環境経営目標

基準年度(2021年度)比の削減(増加)率(%)

項目	単位	基準年	中期目標(内単年度目標)		
		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	基準値	2.5%削減	3.0%削減	3.5%削減
一般廃棄物排出量	kg		2.5%削減	3.0%削減	3.5%削減
産業廃棄物排出量	t		0.00t	0.00t	0.00t
環境配慮工事の推進	件		2件以上	2件以上	2件以上

注：総排水量の削減については、地下水をポンプで汲み上げているので電気量の削減により管理する

5 環境経営計画

当社では、環境経営方針に基づいて二酸化炭素・廃棄物を削減し、環境経営目標を達成する為に社員一丸となって取り組んでいます。取組内容は表3のとおりです。

表3 環境経営計画の主な取組内容

項目		取組内容
二酸化炭素	電気	昼休み＋使用していない部屋の照明は必ず消灯する
		残業する時は必要な箇所だけ点灯し、必要のない箇所は消灯する
		退社時は、ＯＡ機器の電源を必ず切る
	ＬＰＧ	冷暖房は適切な温度(冷房28℃・暖房25℃)で使用する
		エアコンのフィルターの清掃を定期的に行う
		使用していない部屋のエアコンは必ず停止する
	ガソリン 軽油	アイドリングストップを徹底する
		急発進・急加速・空ぶかしをしない
		整理・整頓を徹底し、必要の無い荷物は積まない
		現場への通勤時は、1台の車に相乗りする
灯油	ストーブは適切な温度(暖房25℃)で使用する	
廃棄物	一般廃棄物	紙の書類はスキャニングしてデータ化する
		会社内のネットワークフォルダにデータを保存し文書を共有する
		両面印刷・画面コピー・裏紙の使用を徹底する
		使用済の封筒を再利用する
	産業廃棄物	発生した産業廃棄物の分別・保管を徹底する
		一般ゴミが混ざらないように定期的にチェックする
産業廃棄物管理票(マニフェスト)で産業廃棄物を適正に処理する		
排水量	節水	蛇口の水漏れがないか確認する
		水を出しっぱなしにしない
		節水の表示・呼びかけを行う
環境配慮工事の推進		現場の周辺環境に対して、施工上の配慮事項の提案をする
社員教育		朝礼・ラインワークスを利用した啓発を徹底する
地域貢献		地元の高校生の職場体験を受け入れて、建設業の仕事の面白さを伝える
		地域や協会の清掃活動等の呼び掛けには積極的に参加する

6 環境経営目標の実績

当社では、環境経営目標の達成状況の確認・評価を行いました。今回は、2024年度全体(2024年1月～12月)の実績と評価結果について、表4のとおり報告致します。なお、総量のほかに補助指標として「総売上高比」でも達成状況の確認を行います。

表4 当該年度の環境経営目標の達成状況等

○：達成 ×：未達成 CO₂：二酸化炭素排出量

総売上高比：売上百万円当たりの二酸化炭素排出量

本社

項目	単位	基準値	2024年度			達成状況
			目標	目標値	実績値	
電力(CO ₂)	kg-CO ₂	18,517	3.5%削減	17,869	19,913	×
総売上高比	kg/百万円	12.69		12.25	23.05	
LPG(CO ₂)	kg-CO ₂	10,070		9,717	11,010	×
総売上高比	kg/百万円	6.90		6.66	12.74	
ガソリン(CO ₂)	kg-CO ₂	17,132		16,532	13,131	○
総売上高比	kg/百万円	11.74		11.33	15.20	
灯油(CO ₂)	kg-CO ₂	1,917		1,850	667	○
総売上高比	kg/百万円	1.31		1.27	0.77	
CO ₂ 合計	kg-CO ₂	47,636		45,969	44,721	○
総売上高比	kg/百万円	32.65		31.51	51.76	
一般廃棄物排出量	kg	1,300		1,255	1,730	×
総売上高比	kg/百万円	0.89		0.86	2.00	

現場

項目	単位	基準値	2024年度			達成状況
			目標	目標値	実績値	
ガソリン(CO ₂)	kg-CO ₂	36,692	3.5%削減	35,407	26,237	○
総売上高比	kg/百万円	25.15		24.27	30.37	
軽油(CO ₂)	kg-CO ₂	422,476		407,689	276,608	○
総売上高比	kg/百万円	289.57		279.43	320.15	
灯油(CO ₂)	kg-CO ₂	6,716		6,481	6,922	×
総売上高比	kg/百万円	4.60		4.44	8.01	
CO ₂ 合計	kg-CO ₂	465,883		449,577	309,767	○
総売上高比	kg/百万円	319.32		308.14	358.53	
産業廃棄物排出量	t	0.00	最終処分量 0.00t	0.00	7.46	×
総売上高比	t/百万円	0.0000		0.0000	0.0086	
環境配慮工事	件	2件以上	2件以上		4件	○

注：産業廃棄物排出量の集計期間は2024年4月～2025年3月

環境活動の状況

項目	回数・日時	活動名	人数
安全	毎 週	安全朝礼	全員
	毎 月	安全衛生委員会	委員
	年 1 回	安全大会	全員
	年 1 回	緊急事態訓練	全員
地域貢献	2024/04/18	北上川河川敷清掃活動	3名
	2024/05/31	太田幹線排水路アドプト活動	6名
	2024/06/01	太田幹線排水路アドプト活動	7名
	2024/06/26	建設業ふれあい事業(小学校)	1名
	2024/08/03～07	太田幹線排水路アドプト活動	12名
	2024/08/08	「道の日」関連道路清掃活動	3名
	2024/09/25	「空の日」関連空港周辺道路清掃活動	3名
	2024/10/11	体験実習(高校)	1名
	2024/10/25、28	太田幹線排水路アドプト活動	8名
	2024/11/12	建設業ふれあい事業(中学校)	1名

実績についての評価

【本社】

電力とL P Gについては去年と同様に夏の時期の消費量が増加したことが目標未達成の主な原因です。ガソリンと灯油については目標を達成できましたが、これについては毎日取り組んだ成果だと思えます。一般廃棄物の目標が未達成となった原因としては、紙の消費量が増加した為です。今年度は二酸化炭素排出量の合計で目標を達成することはできましたが、来年度は電力・L P Gの消費量と一般廃棄物の排出量を更に削減できるように取り組みを継続していきます。

【現場】

灯油と産業廃棄物の項目で目標未達成となったのは、灯油を多く消費する工事や最終処分する産業廃棄物がある工事を受注した関係で増加した為です。その他の項目は工事の受注量が減ったことも要因ではありますが、目標を達成できたのは日々の基本的な取り組みを続けてきたからです。来年度も受注できた工事の条件に関わらず、基本的な取り組みを継続していきます。

7 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度以降の取組内容

1 取組結果の評価

表5 環境経営計画の主な取組内容と評価

項目		取組内容	評価
二酸化炭素	電気	昼休み＋使用していない部屋の照明は必ず消灯する	○
		残業する時は必要な箇所だけ点灯し、必要のない箇所は消灯する	○
		退社時は、ＯＡ機器の電源を必ず切る	○
	ＬＰＧ	冷暖房は適切な温度(冷房28℃・暖房25℃)で使用する	△
		エアコンのフィルターの清掃を定期的に行う	△
		使用していない部屋のエアコンは必ず停止する	○
	ガソリン 軽油	アイドリングストップを徹底する	○
		急発進・急加速・空ぶかしをしない	○
		整理・整頓を徹底し、必要の無い荷物は積まない	○
		現場への通勤時は、1台の車に相乗りする	○
灯油	ストーブは適切な温度(暖房25℃)で使用する	○	
廃棄物	一般廃棄物	紙の書類はスキャニングしてデータ化する	○
		会社内のネットワークフォルダにデータを保存し文書を共有する	○
		両面印刷・画面コピー・裏紙の使用を徹底する	○
		使用済の封筒を再利用する	○
	産業廃棄物	発生した産業廃棄物の分別・保管を徹底する	○
		一般ゴミが混ざらないように定期的にチェックする	○
産業廃棄物管理票(マニフェスト)で産業廃棄物を適正に処理する		○	
排水量	節水	蛇口の水漏れがないか確認する	○
		水を出しっぱなしにしない	○
		節水の表示・呼びかけを行う	○
環境配慮工事の推進		現場の周辺環境に対して、施工上の配慮事項の提案をする	○
社員教育		朝礼・ラインワークスを利用した啓発を徹底する	○
地域貢献		地元の高校生の職場体験を受け入れて、建設業の仕事の面白さを伝える	○
		地域や協会の清掃活動等の呼び掛けには積極的に参加する	○

○：評価できる △：まずまず評価できる

2 次年度の取組内容

- (1) 二酸化炭素排出量の削減
電気と冷暖房の使用に関係する取り組みを徹底する
- (2) 廃棄物の排出削減
一般廃棄物(紙)の消費量・排出量の削減に取り組む
- (3) 節水
意識して取り組む
- (4) 環境配慮工事の推進
提案できることはできる限り提案し、実施する
- (5) 社員教育
環境関連のセミナーの参加の他に必要な資格の取得を推進する
- (6) 地域貢献活動
積極的に取り組む

8 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価並びに違反、訴訟等の有無

当社に適用される主な環境関連法規等の一覧の妥当性及びその遵守状況を確認した結果、環境関連法規への違反はありませんでした。

また、過去3年間に関係当局からの違反等の指摘、住民等からの苦情・訴訟等についても特に問題はありませんでした。

9 代表者による全体評価と見直しの結果

見直し項目	評価	改善及び指示
環境経営方針	全員が方針に沿って取り組んでいた	
環境経営目標	電気とLPGの消費量が目標未達成であるが、その他の項目は取り組みの成果が出ていると思う	2024年度の実績を新しい基準として目標を設定すること
環境経営計画及び環境経営システム	取組内容を全員が理解して取り組んでいた	現在の会社の状況に合わせた内容に見直すこと
実施体制	特に問題なし	
その他		取り組みに必要な提案は必ずすること
全体評価		
2024年度は前年度より若干工事量も増えたが、ガソリンと軽油の目標を本社と現場の両部門で達成できたことは評価できる。暑い時期が続いた関係でエアコンの使用時間が増加し、電気とLPGの項目で今年度も目標を達成することはできなかったが、今後も無駄に使用することのないよう取り組みを継続・工夫すること。		